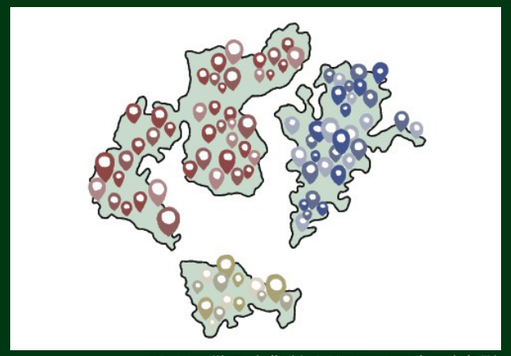
島前3島 Info. Info. Info. 情報 Info. Info. Info.

島前3島のさまざまな情報をお届けします。各島いろいろな取り組みをしていますので、ぜひご覧ください。



イラスト：増田 光花（ますだ みつか・1年・兵庫県）

西ノ島

小学4年生、ニホンミツバチの生態を観察！

5/27に総合的な学習の時間で船越地区に出かけ、実際に蜂の巣に出入りするミツバチを観察し、飼育に携わる地域の方へのインタビューも行いました。当日はたくさんの質問をすることができ、ニホンミツバチや自然の豊かさについて理解を深める貴重な時間となりました。活動はこれからも続きます!

海士

参加型・対話型でタブレットの「約束」づくり

GIGAスクール構想の推進により、小中学校でも1人1台コンピュータ端末の活用がスタートしました。新しい学習ツールの「善い使い手」となるための第一歩として、タブレットを使う時の約束を子どもたち自身が考え、自分なりの言葉にするという時間をすべての学級でとりました。できあがった約束は、日々の対話の材料になります。

知夫

昼休みミニイベント開始！

公民館主催で、昼休みの30分間に小中学生・教員と地域の方が、遊びや体験活動を通して交流しています。これまでに、「紙飛行機を飛ばそう」「竹とんぼで遊ぼう」という企画を実施しました。ふらっと気軽に参加でき、遊びに来て「こんなことがやりたい」と言ってくださる地域の方もいます。小中学生が交流したり、自分たちで遊び方を工夫したりする姿が素敵です!

島前の、わっ！ No.8

島前約5,700人

毎回、島前内の友だちをつなげていきます！
今回は清水長治さんからの紹介です。

高校卒業後、大阪での生活を17年間満喫し、生まれ育った島後へ。最後は地元かと思いきや、今は島前の人間に。なんて面白い人生やろう！たくさんの出来事と人との縁、すべてが「縁」によって繋がる。私にとって新たな故郷。凪いでも時化ても「一笑健明」生きていきたい！

吉田 公三（よしだ こうぞう）
菱浦郵便局

～編集後記～

今号の作成を手伝ってくれた島前高校生から一言！

今回、岡本さんにかけていただいた「恭介も家族の一員」という言葉や熱すぎる想いと愛を振り返り、改めて「島親さんが岡本さんでよかった」と心から思いました。この温かい“つながり”に恵まれたことに感謝し、この島だからこそ学べる学びをこれからも深めていきたいです！

高橋 恭介（たかはし きょうすけ・2年・埼玉県）

【ホームページ】http://miryokuka.dozen.ed.jp
隠岐島前教育魅力化 検索

【facebook】https://www.facebook.com/miryokuka.dozen.ed.jp/
隠岐島前教育魅力化

発行日　2021年7月15日
発行元　隠岐島前教育魅力化プロジェクト　事務局 住所:〒684-0404 島根県隠岐郡海士町大字福井1339 電話:08514-2-0310 /メール:info@dozen.ed.jp

隠岐島前教育魅力化通信

しましま

第八號　令和3年7月

今号は島前3島特集の最終回、海士。「大切にしたい日常」をテーマに海士の皆さんのお話をうかがいました。そして今回は、島前高校生の高橋恭介くんが制作に参加！コロナ禍で自粛中に島親さんだった岡本さんからかけられた言葉が嬉しかったという彼と岡本さんとの対話を通じて、海士の中の1つの大切な“つながり”が見えてきました。

写真：保々見地区

島は家族 ～島子にむけて～

島留学生の島親を初めてやってみただえど、自分が海士弁だし、言葉が通じんのじゃないかと最初は戸惑いがあったなぁ。コロナでできんことが多かったけど、子どもや孫らが集まる時に恭介もおれたがなぁ。島は家族みたいなもんだし、おまえももう家族の一員だだわ。恭介は「道すがら挨拶をする親しみのある関係性が好きだ」と言うだだえど、自分自身からそんな風に振る舞える人になってほしいだわなぁ。ここの付き合いのなかで教わったことを都会に戻っても活かすだよ。そっで学校で教わらんことを自分で吸収しなさいね！

Okamoto Shigetoshi
岡本 茂寿

みんなに聞いてみた！

日々の生活にある大切なつながりは何ですか？

昨年から続く自粛生活。そのなかで改めて感じたホッと温かくなる“つながり”は何？「海士の好きなもの（こと）」と合わせて、皆さんに聞いてみました。

横棚 裕心
よこだな ゆうしん
［2年 海士町］

高校に入学したときにはすでに休校が決まっていて、クラスメイトとなかなか会うことができずもどかしかったです。当たり前のように学校に通い、友達と過ごせることのありがたさを実感しました。ちなみに自粛期間は筋トレに励んでいました。

今年の2月に高校生3人が中心となって「カルマキッチン」というイベントをお店で行いました。私は料理と空間の提供のみでしたが、普段とは異なる交流ができ、新鮮で楽しかったです！ 高校生には、ぜひ日々の食も大事にしてもらいたいです。

Italian cafe Radice
桑本 千鶴さん
くわもと ちづる
［海士町］

森角 拓海
もりかく たくみ
［3年 神奈川県］

コロナ禍になってみて、当たり前に対面して喋ってくれる家族っていいなぁって思いました。懐かしいゲームをやったり、テレビを見たり、そういった普通でくだらないことを一緒に楽しめる家族ってやっぱりいいですよね。

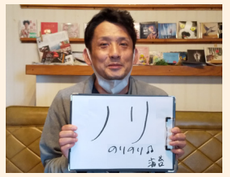
飯古建設/島前高校女子バスケットボール部コーチ
須田 誠致さん
すだ まさのり
［海士町］

バスケ部の生徒たちが厳しい練習を乗り越えてチームとして成長する姿を、親のような気持ちで見守り指導して10年以上になります。バスケを通じて得た生徒や地域との繋がりは、私の人生においてかけがえのない財産です。

コロナ禍で休校になった時に、課題を作ってくれたり、遠方の人とリモートで繋いでくれたりと、当たり前のことを当たり前にできるように、学びの機会を必死でつくってくれた先生方や塾のスタッフさんには本当に感謝しています。

浜崎 遥香
はまさき はるか
［2年 海士町］

お泊り処 なかむら
中村 徹也さん
なかむら てつや
［海士町］



挑戦に喜んで協力してくれる仲間といる時が一番ホッとする時間。これまで人とは違うことにいろいろ取り組んできたけど、失敗もあれば継続して残るのもあるというのが面白い。そして、そんな好きなことが仕事に繋がるっていうのが楽しいね。

Wonderful! Ama 高校生たちの海士

Takahashi Kyousuke Select photos.

編集委員の高校生が撮った写真の中から、海士の風景をピックアップしました。高校生の目に映る島の風景、ぜひ味わってください。

注目 Person（パーソン）!!

藤井 杏奈
ふじい あんな　3年　海士町

まっすぐ向き合える仲間と出会えた

Q. 高校での一番の思い出を聞かせて！
A. やっぱり部活です。放課後は毎日バレーをしてました。2年生の時は部員が5人しかいなくて、大会は助っ人を借りて出場しました。部員同士とても仲が良く、なんでも話せる関係性でしたね。毎日が楽しくて、部活のために学校に行っていました。今もそんな感じでつきあえます。

Q. 引退試合はどんな気持ちで臨んだの？
A. 最後の大会前に、勝敗に縛られずに思いっきり楽しみたいと打ち明けました。勝利に向けて練習を重ねてきた分、気持ちを伝えるのには勇気がいりましたが、一緒に頑張ってきた仲間に嘘をつきたくないという思いでしたね。試合は負けましたが、素直な気持ちでみんなとプレーすることができ、後悔はありません。真剣に向き合える仲間と出会え、バレー部に入ってよかったと心から思います。

人間力は努力する過程で培われる
卒業生インタビュー

Q. レスリング部を監督する際に意識していることは？
A. 監督になった当初は「勝つこと」と「人間力形成」を掲げていました。近年は、勝つことでの成長、勝たなければ見えない景色があることに気付き、勝つために努力する過程でこそ人間力が培われると信じて指導しています。

Q. レスリング部も含め島前高校生に対して伝えたいことは？
A. 高校生はもっと田舎くさく、のびのび過ごしてもいいのではないかと思っています。特に島前内から進学した生徒たちは、地元のおっちゃんとして応援したくなるよね。また、今は地域交流という言葉が先行していますが、まずは感謝や礼儀、周りの人との付き合いを大切に行動してほしいと、教員としても高校の先輩としても伝えたいです。生徒に限らず、自分たち教員もそうありたい。それこそが、地域に愛される学校となり、愛される人間になるための近道だと思っています。

河内 龍馬
かわうち りゅうま
平成9年度卒・海士町出身
隠岐島前高校教員（保健体育科）
レスリング部監督